

著者紹介

戸田 香（とだ かおり）

京都女子大学ジェンダー教育研究所 助教

京都女子大学文学部英文学科卒業。

大阪市立大学大学院創造都市研究科（都市政策専攻）修士課程修了，修士（都市政策）。

神戸大学大学院法学研究科（政治学）博士後期課程修了，博士（政治学）。

朝日放送テレビ株式会社（出向：株式会社朝日新聞社，株式会社テレビ朝日，株式会社デジアサ）を経て2023年4月から現職。

【主要業績】

「『寄り添う』という言葉が持つ価値と可能性：大学生は大川小学校津波事故から何を学んだのか」、『子どもたちの命と生きる：大川小学校津波事故を見つめて』，信山社，2023，第3章。

「都道府県は市町村の条例制定促進にどのような役割を果たすのか：男女共同参画推進条例を事例に」『京女法学』2023，23。

「公共政策学教育におけるケース・メソッドの有用性について：メディア系実務家教員の教育現場を事例に」、『公共政策研究』2020，(20)。

「事業終了の政治過程：そのプロセスの類型化は可能か」『年報政治学』2019，70(2)。

「岩手県野田村 地域のネットワークが大きな力を発揮した『のだ』：特産品の『塩』と女性起業の力」，「宮城県登米市 駅同士の連携で力を発揮した『みなみかた』：発揮された道の駅のネットワーク力」，『震災復興と地域産業3：生産・生活・安全を支える「道の駅」』，新評論，2013，第3章・第8章。

「河川統制から治水政策へのパラダイム転換：管理からガバナンスへ」，『公共の経済・経営学：市場と組織からのアプローチ』，慶應義塾大学出版会，2012，第13章。